

○県立高校の再編等に係る跡地利用等について

1 再編等に係る校舎等の活用状況等

年度	再編前	再編後	活用状況
H17	角田高校	角田高校	—
	角田女子高校	—	角田高校が部活動で利用
H17	築館高校	—	施設解体後、栗原市へ売却（市立幼稚園を新設）
	築館高校瀬峰校	—	未利用
	築館女子高校	築館高校	—
H17	気仙沼高校	気仙沼高校	—
	鼎が浦高校	—	気仙沼警察署、気仙沼合同庁舎用地として利用
H19	農業高校秋保校	募集停止	校舎解体後、仙台市へ特別教室棟・体育館を無償譲渡、土地を返還
H19	黒川高校大郷校	募集停止	施設解体後、大郷町へ土地を返還
H21	岩ヶ崎高校	岩ヶ崎高校	—
	鶯沢工業高校	鶯沢校舎	(H28 に募集停止後) 未利用
H22	白石高校	白石高校	白石高校が部活動で利用（第2グラウンドに校舎新築）
	白石女子高校	(新設)	白石高校が部活動で利用
H22	飯野川高校十三浜分校	廃校	施設解体後、石巻市へ土地を返還
H27	上沼高校	登米総合	—
	米山高校	産業高校	登米市へ売却、市が学校法人に貸与（広域通信制高校）
	米谷工業高校	(新設)	体育館を文化財課が収蔵庫として利用
H30	気仙沼高校	気仙沼高校	—
	気仙沼西高校	—	校舎→気仙沼圏域防災拠点として活用 附属棟→附属棟を気仙沼市感染症クリニックとして活用 グラウンド→気仙沼市教育委員会が活用

2 統合対象校に係る処分制限年数等

統合対象校の校舎については、国庫補助等を活用して建築していることから、以下のとおり処分制限期間が設定されている。

校名	所在	建築年	処分制限期間（年）	概要
松山高校	大崎市	平成2年（築30年）	60年間	鉄筋コンクリート造
鹿島台商業高校	大崎市	昭和57年（築38年）	60年間	鉄筋コンクリート造
南郷高校	美里町	昭和54年（築41年）	60年間	鉄筋コンクリート造

ただし、事業完了後10年以上経過していることから、財産処分を行うに当たっては以下のような手続きを経た上で財産処分が可能となる。

財産処分内容	手続き	国庫納付金の有無	備考
転用・貸与・譲渡・取壊し（無償）	文科大臣への報告	無	
貸与・譲渡等（有償）	承認申請	無	国庫納付金相当額以上の基金積立が必要

3 統合対象校の跡地利用等について

○ 統合対象校の跡地については、上記の活用事例のように、教育機関や防災施設としての活用等が考えられることから、地元市町の意向等をよく確認しながら、より良い活用が図られるよう検討していきたいと考えている。